

5+1大学の学生が力を合わせて地域イノベーションを起こす！

//新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、オンラインでの実施となります。//

2019年度より、Skyward EDGE コンソーシアムを構成する、滋賀医科大学、東京理科大学、山形大学、多摩美術大学、早稲田大学の5大学による合同プログラムが始まりました。

「**地域イノベーション**」をテーマとし、長野県茅野市・諏訪市及び公立諏訪東京理科大学と連携し、6大学の学生らが力を合わせて、地域活性化につながるビジネスアイデアの創出に取り組めます。

今回のワークショップでは...

長野県茅野市・諏訪市を対象として、大学、市役所など地域の多様なステークホルダーと連携し、対象地域の自然環境、観光資源、伝統、企業について調査し、その強みを活用した先導的な実証実験を行う事業のアイデアを発想します！

茅野市について

長野県南信地方にあり、人口約5.5万人の市です。縄文時代から栄え、縄文遺跡が数多く存在しており、八ヶ岳、白樺湖、蓼科高原、車山など観光資源を多く抱える観光都市です。また、精密業を基盤とする工業都市でもあり、パセリやセロリといった高原野菜の産地としても有名です。伝統産業として、冬の寒さと乾燥した気候を利用して作られる角寒天、凍り豆腐、氷餅があり、そのほとんどは茅野市で生産されています。現在、若者に「選ばれるまち」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。

諏訪市について

諏訪市は、標高759mの諏訪湖の畔にある高原湖畔都市です。全国有数の工業都市であり、古くは製糸産業、戦後は精密機械の製造を中心に発展し、近年は自動車、半導体、医療、航空宇宙等、新たな分野への挑戦を続けています。また、全国諏訪神社の総本社である諏訪大社、霧ヶ峰高原、諏訪湖、温泉等の資源を生かした観光都市としての一面も持っています。近年では、諏訪湖を一望できる公園に、全国から多くの方が訪れています。

■ 日程：2021年8月30日（月）～9月1日（水） ★スケジュール詳細は裏面

■ 参加者：

- ・滋賀医科大学、東京理科大学、山形大学、多摩美術大学、早稲田大学の学生、公立諏訪東京理科大学の学生（各大学定員4名）
- ・長野県茅野市、諏訪市職員（予定）
- ・大学教員（予定）

■ 参加費：無料

■ 主催：Skyward EDGE,

■ 協力：公立諏訪東京理科大学、茅野市、諏訪市

■スケジュール（3日間）

混合チーム（1チーム5名程度）を構成し、i.schoolの手法を用いて、茅野市/諏訪市の地域活性化を促す、ビジネスアイデアを創造します。

8月30日（月） 13:00 – 18:00（※1）	開会挨拶 茅野市/諏訪市の紹介 ワークショップ： 未来シナリオの分析、先駆的大都市近郊地域の事例分析など
8月31日（火） 9:00 – 16:00（※2）	アイデア創出ワークショップ
9月1日（水） 9:00-16:00	アイデア創出ワークショップ、発表とフィードバック

※1 17:00-18:00にオンライン懇親会を予定しております。

※2 各チームの作業終了時間は未定のため、夜に予定を入れないようお願いします。

■接続環境

プログラムでは複数のオンラインツール(Zoom, Apicenote等)を同時に利用します。

高速かつ安定した通信環境と接続用のパソコンをご自身でご用意ください。

（デザリングによる接続は非推奨です。）

■ワークショップ講師



堀井秀之

一般社団法人日本社会イノベーションセンター(JSIC)代表理事
i.schoolエグゼクティブ・ディレクター

滋賀医科大学の学生の皆さんにお知らせです！！

現在このプログラムの受講生を募集しています。

- 募集定員：4名（選考あり）
 - 申込方法：担当（松浦）まで下記問合せ先メールで連絡
 - 申込期限：6月21日（月）
 - 問合せ先：松浦（m18matsu@belle.shiga-med.ac.jp）
- ★本プログラムは、全日程参加可能な方のみお申込みください。